



今夏ブラジルのリオデジャネイロで開催されたオリンピックに教え子の遠藤大由選手が出場しました。見かけの穏やかな表情とは違い、小さいころから負けず嫌いで、うまくできないとよく泣いていたのを思い出します。強豪選手が多かったこの年代、全国選抜大会ではシングルスで優勝していましたが、ダブルス・シングルスで二冠を狙った高校生最後のインターハイでシングルスの試合中、強度の捻挫をしてしまい、翌日のダブルス準決勝は『どうする、無理はするな』と言う問いかけに、枕を頭からかぶり泣いている状況でした。急いでトレーナーと共に痛み止め薬を求めて県内の整骨院を車で走り回ったのを覚えています。この治療と痛み止めが功を奏し、『出来るところまでやってみます』と本人が固い決心をしてコートに向かいました。言い出したら意地でもやり遂げる性格ですから『無理はするなよ』心の中で祈りました。そして、なんと結果はスーパーミラクルの優勝です。オリンピックはこのころから意識した夢だったのではないのでしょうか。高い次元でモチベーションを持ち続けることは至難の業です、張り詰めた糸は切れやすいように気持ちを緩める時間も必要で、メリハリの効いた生活が長い時間モチベーションを落とさない方法になるのではないのでしょうか。ここから先も緩急を大切に競技生活をもっとしていました。しかし、大学時代も前十字靭帯を切る大けがを負ってしまいます、学生最後のインカレ団体戦、優勝を狙った決勝戦でけがをしてしまいました。手術やリハビリに1年以上を費やしました。結果的に、これがオリンピックに繋がるダブルスへの専念を決定づけることになったのです。こうして常にケガをもポジティブな考えで乗り越えてプラスにしてきた遠藤選手です。トップ選手は誰もがケガとも戦っていますが、しかし、大切な大一番ではケガの無いようにと祈ってしまう、親心とはこんなものですね。

さて、いよいよ本番のオリンピックですが、予想以上の激戦区となった予選Dグループ、遠藤・早川組は格上のペアを次々と撃破し、順調すぎるほどの滑り出しを見せ、大きくメダル獲得への期待を日本中に抱かせました。《結果、初戦 21-18・14-21・23-21 世界ランク5位 CHAI Biao, HONG Wei (中国)、2戦目 21-17・16-21・21-14 世界ランク2位 Mohammad AHSAN, Hendra SETIAWAN (インドネシア)》オリンピックに出たいと言っていた高校生のころを思うと夢のような出来事ですが、いざメダルに手が届きそうになると応援にも熱が入ってきます。しかし、オリンピックには魔物が住んでいました。無理をしていた日本ペアを故障が襲いました。その中での3戦目をやはり無理がきかずに落としてしまいます《結果、21-23・11-21 Manu Attri, Reddy Sumeeth B (インド)》それでも激戦の予選リーグを第1位で通過し、メダルを賭けて望んだ決勝トーナメント第1戦、精一杯の奮闘を見せますが、惜しくも届かず敗戦という結果になってしまいます。《結果、19-21・17-21 Marcus ELLIS, Chris LANGRIDGE (イギリス)》結果的にはこのイギリスペアが銅メダルを獲得しているのですが、このイギリスペアの好調さもよくわかりますが、日本国民にとっても私にとっても、とても残念な結果となってしまいました。しかし、本人が一番ショックを受けているはずで、その重さは図り知れないものだと思います。

私は遠藤選手のオリンピック出場が決まった瞬間、自分のことのように大人げなく飛び上がって喜んでしまいました。残念ながらリオまで応援に行くことは出来ませんでした。母校では全生徒1700人が見守る前で壮行会が行われ、夜中の試合にもかかわらず100人を超す部員・保護者・OB達が学校のホールに集まってパブリックビューイングを通して応援をしました。今でもあの応援の熱気が手に取るように思い出されます。オリンピックが終わり帰国した遠藤選手に話を聞くと、オリンピックは他の大会と違い特別だと言っていました。まさに夢の祭典です。今後について今は全く考えられないとも語っていました。『本当にお疲れさま』とねぎらいの言葉はかけましたが、こんな言葉では労いにもならないと思います。この後、YONEX OPEN JAPAN 2016が控えています、『今は、ゆっくり休んで』と言う言葉を、遠藤大由選手の『大丈夫です』という言葉が遮りました。今は4年後のことは考えられないと思いますが、私の気持ちとしては今回体験できた夢の祭典、そして東京でのオリンピックを考えると叶わなかったメダル獲得への夢をもう一度追いかけてほしいという気持ちで一杯になりました。

巻頭言	平成二十八年度 総会資料
総会議事録	
平成二十七年事業報告	
平成二十七年決算	
平成二十八年度事業計画	
平成二十八年度予算	
平成二十八年度登録一覧	
第六回全日本教育系学生大会要項	
第五十五回大会資料	
今大会を顧みて	
レフェリー報告	
平成二十八年度表彰者一覧	
総合順位	
成績表	
団体戦	トーナメント表
個人戦	トーナメント表
第五十五回大会を終えて／表紙の人	
派遣審判員一覧／閑話休題	